

## 子どもの居場所を探しています

発達障がいや事情により児童センターや自宅で過ごせない子や課題のある子の勉強や放課後過ごせる居場所を探しています。



学習やプレイルームとして利用できる場所を貸してください。  
(賃貸料金についてはご相談)

**青木小・中学校から徒歩10分以内が希望です**  
(車で5分程度)

- ・学習室・プレイルームなどとして利用できる8畳以上の部屋が2つ以上ある場所
- ・トイレが利用可能
- ・2台以上車が駐車できるもしくは近くに駐車スペースがある
- ・元お店などでも可能です

利用されるお子さんが増え年齢や成長に合わせ、より充実したサービスを提供するために、青木村に2ヶ所目の居場所を探しています。学校周辺で、学習や室内で過ごせる居心地のいい場所を作りたいと思っています。ぜひ、私達の活動にご協力してください。

### コラム ～発達検査について～

「検査＝悪いものを見つける」というイメージが強いのではないのでしょうか？「検査」と言うとみなさんは何を思い浮かべますか？

商品の出荷検査、健康診断、調子が悪い時の検査などなど、世の中には沢山の検査があります。そんな中、みなさんの中で身近な検査の一つと言えばやはり体の悪いところを探す検査になるかもしれません。みなさんの中で検査をして良かったと思われた方もいれば、残念な思いをされた方もいるかもしれません。ただ、多くの結果の起因になるのは「どれだけ早く見つけることができるか。」ということではないのでしょうか？

私は、この仕事を始めてから多くの方と関わってきました。その中で反省することがあります。それは「なぜもっと早く関わることができなかったのか」と思う方が何人かいる事です。

どうしてそんな事を思うのか？それは、今安心して生活する事ができているけれど、そこまで長い時間が必要だったからです。もし、もっと早い段階から関わる事ができていたら、きっともっと早くその人らしい生活を送ることができていたのではないかと考えています。

そのために、検査はとても重要な役割があります。

少しわかりやすいたとえ話をしましょう。

「癌」という病気があります。この病気は現在の1位の病気です。でも、必ず命を落とす病気ではありません。この病気を発症して完全に根治するために一番重要なものは「早期発見」です。

そう、早い段階で病気と場所を見つけることです。発見が遅くなると、治療することが大変になっていきます。根治できない訳ではないですが、かなり大変になりますよね。

癌と発達障がいは同じではありませんし、同じ考えができるわけではありませんが、考え方は同じです。発達検査は、決して障がいだけをみつけることではありません。障がいではなくても本人の得意な事や苦手なことを成長を確認する役割としてもとても大切なものです。

## 発達障がいについて基本的な知識

みなさんは「スキヤモンの発育・発達曲線」というのを見たことがありますか？1930年に人類学者のスキヤモン博士が論文の中で発表したもので、人間の各機能の発達を示したものです。今回、この表で注目していただきたいのは、青くなっている部分です。青いグラフは脳の成長を表しています。そして、脳は2歳ぐらいから9歳ぐらいまででほぼ完全に成長するのです。この意味は、そこで成長が止まってしまうということではなく、成長の過程において、様々な刺激や得意なことを見極めて取り組んでいくことで、どんどん吸収して伸びていくということを表しています。それ以降は、成長した能力を活用してそこに知識や経験が伴っていく事になります。

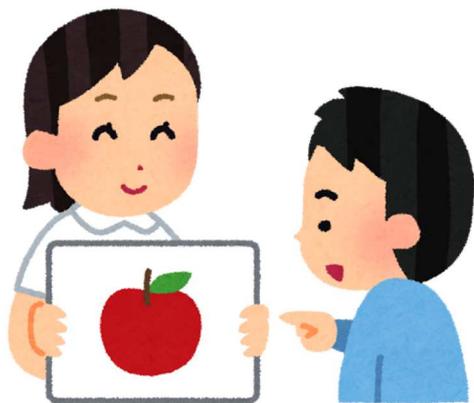
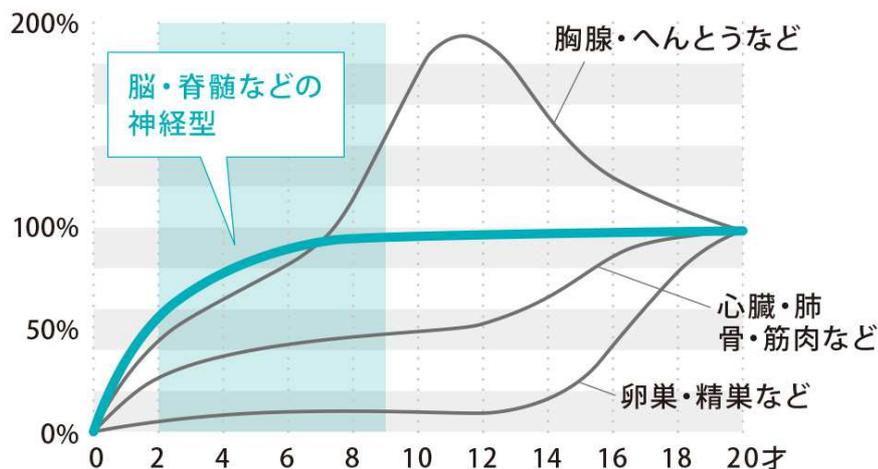
ことわざで「三つ子の魂、百まで」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？まさにその事を表しています。

人間は3歳ごろまでに作られた性格が基礎になり、その上に理性や社会性などが経験として積み重なっていき一人の人間の生活を作り出しています。認知症の方が「こんな性格だと思わなかった」と言われる事がありますが、それは理性や社会性という積み重なった経験が抑えていた本来の性格が現れていると言われています。そう、認知症になって豹変したのではなく、もともとの性格が現れていると言われています。それだけ、実はこの時期の経験や体験が人にとって大切な基本を作っているのです。

発達障がいかどうかという事とは関係なく、この時期の成長を確認するために発達検査を受けることはとても意味のある事です。その結果を参考にしながら、どんな事が得意なのかどんな興味があるのかを知り、たくさん刺激を与えてあげる事ができるようになりますし、苦手なことを知る参考にもなります。発達障がいのお子さんにとっても早い段階で得意・不得意を知ることによって子育てやこの先の事も見通しが立つようになるかもしれません。特に発達障がいのお子さんの場合、この時期に正しい方法でたくさん刺激（情報）を提示することで、良い成長を促していく事ができるようになります。

ただ、この時期に行う発達検査は「学習能力」を知る検査ではなく、どんな事が得意なのかということだけが、とても重要な情報です。

(スキヤモンの発育・発達曲線)



### 青木村の子育て支援では

青木村の3歳児検診では、昨年度から希望される方には**遠城寺式乳幼児分析発達検査**という検査を受けることができます。この検査では、「運動」「社会性」「言葉」3つの分野の初期能力を知ることができます。

一度、お子さんの能力を検査してみませんか？

また、3歳児検診の時に受けられなかったとしても、後日、気になる方は保健師さんもしくは教育委員会に相談をしていただければ検査を受けることができます。

また、年齢に応じた適切な検査が青木村では受ける事ができます。

たんとキッズあおき (NPO法人たんと。)

TEL 0268-75-6789

青木村田沢3075-1

■開所時間 9:00-17:00

■定休日 土日祝日

NPO法人たんと

